

審査 設計者

# 令和 8 年度 単価契約設計書

業務名 令和8年度 国県市道舗装復旧業務

業務箇所 浜松市上水道事業給水区域（天竜区を除く）

業務金額

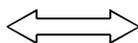
業務期間 令和 8年 4月 1日 ~ 令和 9年 3月31日

業務概要

- 舗装復旧工 (N4) 1㎡当たり
- 舗装復旧工 (N5) 1㎡当たり
- 舗装復旧工 (N6) 1㎡当たり
- 舗装復旧工 (歩道) 1㎡当たり
- 区画線工 1m当たり

歩掛・単価適用年度 令和 8年 2月 基本単価 令和 8年 2月 地区コード 231 地区

起 終 点 指 定



リサイクル法適用工事

内訳表、施工単価表に記載されている機械の機種などは該当機種の使用を指定するものではなく設計上の参考である



舗装復旧N4タイプ

## 数量調整表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
舗装切断	A10 (02)	$= ( ( 3.00 + 3.00 + 3.00 ) / 9.00 ) * 100$ $= 100.000$ <hr/>
A s 取壊し	A20 (02)	$= ( ( 3.00 * 3.00 ) / 9.00 ) * 100$ $= 100.000$ <hr/>
機械掘削	A30 (03)	$= ( ( 2.90 * ( 0.55 + 0.30 + 0.30 ) * 0.10 ) / 9.00 ) * 100$ $= 3.710$ <hr/>
A s 殻処理	A40 (03)	$= A20 * 0.05$ $= 100 * 0.05$ $= 5.000$ <hr/>
残土処理	A50 (03)	$= A30$ $= 3.71$ $= 3.710$ <hr/>
上層路盤	A60 (03)	$= ( ( 2.90 * 1.15 ) / 9.00 ) * 100$ $= 37.060$

舗装復旧N4タイプ

## 数量調整表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
表層	A70 (03)	= A20 = 100 = 100.000

舗装復旧N5タイプ

## 数量調整表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
舗装版切断	B10 (02)	$= ( ( 3.00 + 3.00 + 3.00 ) / 9.00 ) * 100$ $= 100.000$ <hr/>
A s 取壊し t=5cm	B15 (03)	$= ( ( 2.65 * 0.55 ) / 9.00 ) * 100$ $= 16.190$ <hr/>
A s 取壊し t=10cm	B16 (03)	$= ( ( 3.00 * 3.00 ) / 9.00 ) * 100 - B15$ $= ( ( 3.00 * 3.00 ) / 9.00 ) * 100 - 16.19$ $= 83.810$ <hr/>
A s 取壊し	B20 (03)	$= B15 + B16$ $= 16.19 + 83.81$ $= 100.000$ <hr/>
機械掘削	B30 (03)	$= ( ( 2.65 * 0.55 * 0.15 + ( 0.25 + 0.25 ) * 2.90 * 0.10 + 0.25 * 0.55 * 0.10 ) / 9.00 ) * 100$ $= 4.190$ <hr/>
A s 殻処理	B40 (03)	$= ( B15 * 0.05 ) + ( B16 * 0.10 )$ $= ( 16.19 * 0.05 ) + ( 83.81 * 0.10 )$

舗装復旧N5タイプ

## 数量調整表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
A s 殻処理	B40 (03)	= 9.190 -----
残土処理	B50 (03)	= B30 = 4.19 = 4.190 -----
上層路盤	B60 (03)	= ( ( 1.05 * 2.90 ) / 9.00 ) * 100 = 33.830 -----
基層	B70 (03)	= ( ( 3.00 * 3.00 ) / 9.00 ) * 100 = 100.000 -----
表層	B80 (03)	= B70 = 100 = 100.000

舗装復旧N6タイプ

## 数量調整表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
舗装版切断	C10 (02)	$= ( ( 3.00 + 3.00 + 3.00 ) / 9.00 ) * 100$ $= 100.000$ <hr/>
A s 取壊し t=5cm	C15 (03)	$= ( ( 2.56 * 0.55 ) / 9.00 ) * 100$ $= 15.640$ <hr/>
A s 取壊し t=19cm	C16 (03)	$= ( ( 3.00 * 3.00 ) / 9.00 ) * 100 - C15$ $= ( ( 3.00 * 3.00 ) / 9.00 ) * 100 - 15.64$ $= 84.360$ <hr/>
A s 取壊し (計)	C20 (03)	$= C15 + C16$ $= 15.64 + 84.36$ $= 100.000$ <hr/>
機械掘削	C30 (03)	$= ( ( 2.56 * 0.55 * 0.14 ) / 9.00 ) * 100$ $= 2.190$ <hr/>
A s 殻処理	C40 (03)	$= ( C15 * 0.05 ) + ( C16 * 0.19 )$ $= ( 15.64 * 0.05 ) + ( 84.36 * 0.19 )$

舗装復旧N6タイプ

## 数量調整表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
A s 殻処理	C40 (03)	= 16.810 -----
残土処理	C50 (03)	= C30 = 2.19 = 2.190 -----
上層路盤	C60 (03)	= ( ( 3.00 * 3.00 ) / 9.00 ) * 100 = 100.000 -----
基層	C70 (03)	= C60 = 100 = 100.000 -----
表層	C80 (03)	= C60 = 100 = 100.000

舗装復旧歩道タイプ

## 数量調整表

数量調整表優先

名 称	コード	計 算 式
舗装版切断	D10 (02)	$= ( ( 2.00 + 2.00 + 0.75 ) / 1.50 ) * 100$ $= 316.670$ <hr/>
A s 取壊し	D20 (03)	$= ( ( 2.00 * 0.75 ) / 1.50 ) * 100$ $= 100.000$ <hr/>
A s 殻処理	D30 (03)	$= D20 * 0.03$ $= 100 * 0.03$ $= 3.000$ <hr/>
表層	D40 (03)	$= D20$ $= 100$ $= 100.000$

M0010		舗装復旧 (N4)			第 1号表	
		表層工5cm 上層路盤工10cm				
金 円 100 m2 当り						
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断	m	100			SP 1号表	数量コードA <sup>1</sup>
舗装版破碎積込 (小規模土工)	m <sup>2</sup>	100			SP 2号表	数量コードA <sup>1</sup>
掘削	m <sup>3</sup>	3.7			SP 3号表	数量コードA <sup>1</sup>
建設副産物処理 アスファルト塊 L=5.1km バックホウ平積0.10m <sup>3</sup> 2t車 DID区間有	m <sup>3</sup>	5			第 2号表	M10001 数量コードA
建設発生土処理 浜松市指定建設発生土受入地	m <sup>3</sup>	3.7			第 4号表	M11001 数量コードA
不陸整正工 施工幅=1.8m未満	m <sup>2</sup>	100			第 5号表	数量コードA <sup>1</sup>
上層路盤工 仕上り厚さ=10cm 施工幅=1.8m未満 粒度調整碎石 (M-30)	m <sup>2</sup>	37.1			第 6号表	数量コードA <sup>1</sup>
表層 (車道・路肩部)	m <sup>2</sup>	100			SP 5号表	数量コードA <sup>1</sup>

1, #等: 諸経費等対象額

M0010						第 1号表
積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
安全費 舗装復旧時 交通誘導警備員	m <sup>2</sup>	100			M20001 第 7号表 数量コードA	
建設機械運転費 バックホウ運転 (3箇所/日当り) 積込み、移動、積卸し	日				M30001 基地→現場(3箇所)→基地 第 8号表	
小計						
諸経費	%					
計						
単価	m <sup>2</sup>					

1, #等: 諸経費等対象額

M1000		建設副産物処理			第 2号表
		アスファルト塊 L=5.1km			
		バックホウ平積0.10m3 2t車 DID区間有			
金	円	10 m3 当り			
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
処分費 As塊	m3	10			西部合材リサイクルセンター協同組合 浜松市西区伊左地町1511-2
ダンプトラック運搬・2t積(管路掘削工事) 小型バックホウ 山積0.13m3(平積0.10m3) DID区間有り, L=5.1km, As塊	m3	10			第 3号表
計					
単価	m3				

ダンプトラック運搬・2 t 積 (管路掘削工事)  
 小型バックホウ 山積0. 1 3 m 3 (平積0. 1 0 m 3)  
 D I D 区間有り, L = 5. 1 k m, A s 塊

第 3 号表

金 円 10 m 3 当り

積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
ダンプトラック運転 2 t 積級 タイヤ損耗費 : 良好	日				
計					
単価	m 3				

M1100 建設発生土処理 浜松市指定建設発生土受入地 第 4号表					
金 円 10 m3 当り					
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
残土処分費	m3	12			浜名区中瀬弁当野地区
土砂等運搬	m3	10			SP 4号表
計					
単価	m3				

不陸整正工  
 施工幅 = 1.8m未満

第 5号表

金 円 100 m<sup>2</sup> 当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員	人				
タンパ 運転 質量 60 - 80kg ガソリン	日				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m <sup>2</sup>				

1, #等: 諸経費等対象額

上層路盤工  
 仕上り厚さ=10cm 施工幅=1.8m未満  
 粒度調整碎石 (M-30)

第 6号表

金 円 100 m<sup>2</sup> 当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
普通作業員	人				
粒調碎石 M-30 30-0mm	m <sup>3</sup>	12.7			
タンパ 運転 質量 60-80kg ガソリン	日				
諸雑費	式	1			
計					
単価	m <sup>2</sup>				

M2000 安全費					
舗装復旧時					
交通誘導警備員					
第 7号表					
金 円 1 m2 当り					
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B	人	0.1			
計					

M3000		建設機械運転費		第 8号表		
金 積 算 項 目		バックホウ運転 (3箇所/日当り)		基地→現場(3箇所)→基地		
円 1日当り		単位	数量	単 価	金 額	摘 要
土木一般世話役		人				
運転手(特殊)		人				
普通作業員		人				
トラック(クレーン装置付)運転 4t積 2.9t吊		日				
小型バックホウ(クローラ型) [標準型・排対型(2次基準)] 標準バケット容量(山積0.13/平積0.10m <sup>3</sup> )		時、日				換算損料(損料表13欄)
計						

M0020		舗装復旧 (N5)			第 9号表	
		表層工5cm 基層工5cm 上層路盤工10cm				
金 円		100 m2 当り				
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断	m	100			SP 1号表	数量コードB 1
舗装版破碎積込 (小規模土工)	m <sup>2</sup>	100			SP 2号表	数量コードB 1
掘削	m <sup>3</sup>	4.2			SP 3号表	数量コードB 1
建設副産物処理 アスファルト塊 L=5.1km バックホウ平積0.10m <sup>3</sup> 2t車 DID区間有	m <sup>3</sup>	9.2			第 2号表	M10001 数量コードB
建設発生土処理 浜松市指定建設発生土受入地	m <sup>3</sup>	4.2			第 4号表	M11001 数量コードB
不陸整正工 施工幅=1.8m未満	m <sup>2</sup>	100			第 5号表	数量コードB 1
上層路盤工 仕上り厚さ=10cm 施工幅=1.8m未満 粒度調整碎石 (M-30)	m <sup>2</sup>	33.8			第 6号表	数量コードB 1
基層 (車道・路肩部)	m <sup>2</sup>	100			SP 6号表	数量コードB 1

1, #等: 諸経費等対象額

M0020						第 9号表
積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
表層（車道・路肩部）	m <sup>2</sup>	100			SP 7号表 数量コードB	
安全費 舗装復旧時 交通誘導警備員	m <sup>2</sup>	100			第 7号表 数量コードB	
建設機械運転費 バックホウ運転（3箇所/日当り） 積込み、移動、積卸し	日				基地→現場（3箇所）→基地 第 8号表	
小計						
諸経費	%					
計						
単価	m <sup>2</sup>					

1, #等: 諸経費等対象額

M0030		舗装復旧 (N6)			第 10号表	
		表層工5cm 基層工5cm 瀝青安定処理工9cm				
金 円		100 m <sup>2</sup> 当り				
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要	
舗装版切断	m	100			SP 8号表	1 数量コードC
舗装版破碎積込 (小規模土工)	m <sup>2</sup>	100			SP 2号表	1 数量コードC
掘削	m <sup>3</sup>	2.2			SP 3号表	1 数量コードC
建設副産物処理 アスファルト塊 L=5.1km バックホウ平積0.10m <sup>3</sup> 2t車 DID区間有	m <sup>3</sup>	16.8			第 2号表	M10001 数量コードC
建設発生土処理 浜松市指定建設発生土受入地	m <sup>3</sup>	2.2			第 4号表	M11001 数量コードC
不陸整正工 施工幅=1.8m未満	m <sup>2</sup>	100			第 5号表	1 数量コードC
上層路盤 (車道・路肩部)	m <sup>2</sup>	100			SP 9号表	1 数量コードC
基層 (車道・路肩部)	m <sup>2</sup>	100			SP 10号表	1 数量コードC

1, #等: 諸経費等対象額

M0030						第 10号表	
積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要		
表層（車道・路肩部）	m <sup>2</sup>	100			SP 7号表	数量コードC 1	
安全費 舗装復旧時 交通誘導警備員	m <sup>2</sup>	100			第 7号表	数量コードC M20001	
建設機械運転費 バックホウ運転（3箇所/日当り） 積込み、移動、積卸し	日				基地→現場（3箇所）→基地 第 8号表	数量コードC M30001	
小計							
諸経費	%						
計							
単価	m <sup>2</sup>						

1, #等: 諸経費等対象額

M0040		舗装復旧（歩道） 表層工3cm		第 11号表	
金 円 100 m2 当り					
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
舗装版切断	m	317			1 SP 1号表 数量コードD
舗装版破碎積込（小規模土工）	m <sup>2</sup>	100			1 SP 2号表 数量コードD
建設副産物処理 アスファルト塊 L=5.1km バックホウ平積0.10m <sup>3</sup> 2t車 DID区間有	m <sup>3</sup>	3			M10001 第 2号表 数量コードD
不陸整正工 施工幅=1.8m未満	m <sup>2</sup>	100			1 第 5号表 数量コードD
表層（歩道部）	m <sup>2</sup>	100			1 SP 11号表 数量コードD
安全費 舗装復旧時 交通誘導警備員	m <sup>2</sup>	100			M20001 第 7号表 数量コードD
建設機械運転費 バックホウ運転（3箇所/日当り） 積込み、移動、積卸し	日				M30001 基地→現場（3箇所）→基地 第 8号表
小計					

1, #等: 諸経費等対象額

M0040						第 11号表
積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	
諸経費	%					
計						
単価	m <sup>2</sup>					

1, #等: 諸経費等対象額

M0050		熔融式区画線 熔融式手動 供用区間			第 12号表	
金 積 算 項 目		10 m 当り				
区画線設置 [熔融式手動] 実線 15cm 塗布厚 1.5mm 白	単位	数量	単 価	金 額	摘 要	
	m	10			第 13号表	
安全費 区画線復旧時 交通誘導警備員	m <sup>2</sup>	10			M21001 第 14号表	
小計						
諸経費	%					
計						
単価	m					

1, #等: 諸経費等対象額

区画線設置 [溶融式手動] 実線 15 c m  
塗布厚 1.5 m m 白

第 13号表

金 円 1000 m 当り

積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
区画線工 (区画線設置工 [溶融式 (手動)]) 昼間単価 供用区間 実線 15cm 時間的制約 無 機・労	m	1,000			標準単価 (基本額) [合計金額対象外]
補正後標準単価	m	1,000			
路面表示用塗料 3種1号 JIS K 5665 溶融 ガラスビーズ含有量15 - 18% 白 比重2.0	k g	570			2
道路用塗料 ガラスビーズ JIS R3301 0.106 - 0.850mm	k g	25			2
接着用プライマー 区画線用 色 - 比重0.9	k g	25			2
軽油 パトロール給油	l	40			2
諸雑費	%				
計 (合計金額対象外は除く)					

1, #等: 諸経費等対象額

第 13号表

積 算 項 目	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
単価	m				

1, #等: 諸経費等対象額

M2100 安全費					
区画線復旧時					
交通誘導警備員					
第 14号表					
金 円 1 m2 当り					
積算項目	単位	数量	単価	金額	摘要
交通誘導警備員B	人	0.31			
計					

# 施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容		
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚＝15cm以下	SP	1号表
舗装版破碎積込（小規模土工）	舗装版破碎積込（小規模土工）＝舗装版破碎積込（小規模土工）	SP	2号表
掘削	土質＝土砂，施工方法＝上記以外（小規模），施工数量＝標準以外 *土砂の種類＝土砂（レキ質土）	SP	3号表
土砂等運搬	土砂等発現場＝小規模，積込機種・規格＝バックホウ山積0.13m <sup>3</sup> （平積0.1m <sup>3</sup> ），土質＝土砂（岩塊・玉石混り土含む），DID区間の有無＝有り，運搬距離＝15.0km以下	SP	4号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下），材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（13） A配合，*1層当り平均仕上り厚＝50mm，&瀝青材料規格＝プライムコート PK-3	SP	5号表
基層（車道・路肩部）	平均幅員＝1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下），材料＝粗粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生粗粒度アスコン（20） B配合，*1層当り平均仕上り厚＝50mm，&瀝青材料規格＝プライムコート PK-3	SP	6号表
表層（車道・路肩部）	平均幅員＝1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下），材料＝密粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝タックコート 選択 &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（13） A配合，*1層当り平均仕上り厚＝50mm，&瀝青材料規格＝タックコート 高性能改質アスファルト乳剤	SP	7号表
舗装版切断	舗装版種別＝アスファルト舗装版，アスファルト舗装版厚＝15cmを超え30cm以下	SP	8号表

# 施 工 パ ッ ケ ー ジ 区 分 一 覧 表

名 称	内 容	
上層路盤（車道・路肩部）	材料＝瀝青安定処理材 選択，平均幅員＝1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mmを超え100mm以下），瀝青材料種類＝プライムコート 選択 ＊1層当り平均仕上り厚＝90mm，&路盤材規格＝再生瀝青安定処理材（30-0），&瀝青材料規格＝プライムコート PK-3	SP 9号表
基層（車道・路肩部）	平均幅員＝1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下），材料＝粗粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝タックコート 選択 &アスコン規格＝再生密粒度アスコン（13） A配合，＊1層当り平均仕上り厚＝50mm，&瀝青材料規格＝タックコート 高性能改質アスファルト乳剤	SP 10号表
表層（歩道部）	平均幅員＝1.4m未満（1層当り平均仕上り厚50mm以下），材料＝細粒度アスコン 選択，瀝青材料種類＝プライムコート 選択 &アスコン規格＝再生細粒度アスコン（13） A配合，＊1層当り平均仕上り厚＝30mm，&瀝青材料規格＝プライムコート PK-3	SP 11号表